

第 8 回

入間市市民意識調査

報 告 書

平成 18 年 3 月

入 間 市

人間市民憲章

わたくしたちは、武蔵野の自然にめぐまれた
人間市を愛し、より明るく、豊かな文化のまち
をつくるため、ここに市民憲章を定めます。

- 1 . 自然を愛し、
環境のよいまちをつくりましょう。
- 1 . きまりを守り、
平和な住みよいまちをつくりましょう。
- 1 . 健康で働き、
希望にみちたまちをつくりましょう。
- 1 . 教養を高め、
心豊かなまちをつくりましょう。
- 1 . お互いに助け合い、
やすらぎのあるまちをつくりましょう。

はじめに

国際情勢や経済情勢の大きく変動する中で突入した 21 世紀も 6 年目に入りました。我が国は、少子高齢化と人口減少が現実的な問題となる中で、国、地方の財政再建や真の地方分権が実現するかどうかの分岐点に差し掛かっています。さらに、国際化、高度情報化が進む一方で、環境・エネルギー問題、治安・防災対策、教育の問題など解決すべき課題は山積しています。

社会状況の変化は、市民の暮らしにも様々な影響を与え、市民ニーズは、ますます多様化、複雑化しています。一方で厳しい財政状況の中で、行財政の効率化、健全性を維持しつつ、いかに市民福祉の向上を図っていくかが大きな課題ともなっています。安心安全で住みよいまちの実現、さらに、個性をもった魅力ある「元気な人間」のまちづくりは、15 万市民の大きな目標です。その目標実現のためには、市民要望を適確に把握し、対話と協調による市民と行政のパートナーシップによるまちづくりを、より一層進めていくことが重要です。

人間市では、市政の参考とするために、昭和 53 年(1978 年)から市民意識調査を実施し、今回が第 8 回目となりました。

この結果を十分検討し、長期行財政改革や第 5 次総合振興計画をはじめとした今後の市政運営の基礎資料として、幅広く活用させていただきたいと存じます。

おわりに、この調査にご協力いただきました多くの市民の皆様に心からお礼申し上げます。

平成 18 年 3 月

人間市長 木下 博

目 次

・調査概要	1
1．調査の目的	3
2．調査項目	3
3．調査設計	3
4．調査実施機関	3
5．公表方法	3
6．回収結果	4
7．集計	5
7 - 1．分析軸として用いた属性項目とその基数	5
7 - 2．集計結果の見方	8
調査結果の分析	9
1．暮らしやイメージ、地域活動	11
1 - 1．住みよさの全体評価	11
(1) 住みよい理由	15
(2) 住みにくい理由	18
1 - 2．人間市に対する誇りや愛着	21
1 - 3．定住意識	25
(1) 住み続けたい理由	30
(2) 市外へ移りたい理由	32
1 - 4．将来イメージ	34
1 - 5．将来の都市像	37
1 - 6．人間市の魅力	39
1 - 7．近所づきあい	42
1 - 8．地域活動	47
2．生活環境と望まれる施策	52
2 - 1．生活環境評価	52
2 - 2．優先的に取り組むべき施策	62
3．環境問題について	67
3 - 1．ごみ減量化のために日ごろ心がけていること	67
3 - 2．環境改善のために日ごろ心がけていること	70

4 . ボランティア活動	74
4 - 1 . ボランティア活動の参加	74
(1) ボランティア活動に参加した理由	76
(2) ボランティア活動に参加しない理由	78
4 - 2 . 今後のボランティア活動への参加意向	80
(1) 参加したいボランティア活動	82
5 . 「ていーろーど」について	85
5 - 1 . 市内循環バス「ていーろーど」の利用	85
(1) 「ていーろーど」の利用目的	87
(2) 利用したことがない理由	88
6 . 防災意識について	90
6 - 1 . 防災訓練の参加	90
6 - 2 . 避難所の認知度	94
6 - 3 . 災害時に対する準備	98
(1) 災害時に対する準備の内容	101
7 . 情報化について	103
7 - 1 . 情報機器やメディアの利用度	103
7 - 2 . 入間市のインターネットサービスで利用したい情報	114
8 . 市政との関わり・施設の利用について	116
8 - 1 . 「広報いるま」について	116
(1) 「広報いるま」で関心がある内容	118
(2) 「広報いるま」を読まない理由	120
8 - 2 . 「市議会だより」について	122
8 - 3 . 入間ケーブルテレビの市議会中継について	124
8 - 4 . 市政への関心度	126
(1) 市政に関心がある理由	128
(2) 市政に関心がない理由	130
8 - 5 . 市政の情報源	132
8 - 6 . 市政情報の取得度	134
8 - 7 . 市政への市民の意見の反映	136
8 - 8 . 広聴手段の利用度	138
8 - 9 . 希望する広聴制度	149
8 - 10 . 公共施設の利用度	151
8 - 11 . 公共施設を利用していない理由	159
8 - 12 . 行財政改革を進めるにあたっての重点項目	161
8 - 13 . 行政サービスの利用者負担	163
8 - 14 . 市役所職員の対応評価	165

9 . 健康・スポーツ・芸術文化活動について	173
9 - 1 . 運動・スポーツの頻度	173
(1) 運動・スポーツの種目	175
(2) 運動・スポーツを行った場所	178
(3) 運動・スポーツを行った目的	180
(4) 運動・スポーツを行わなかった理由	182
9 - 2 . 自ら行った芸術文化的な活動	184
(1) 芸術文化の鑑賞の有無	186
(2) 人間市の芸術文化の振興のための取組	188
10 . 人権問題について	190
10 - 1 . 差別経験の有無	190
(1) 差別の内容	192
11 . 自由回答のまとめ	194
付 . 調査票	209